

支 援

「『選挙』出前講座～私たちの願いを実現するくらし」 相原小学校 6年

11/18（火）2校時～6校時、町田市選挙管理委員会事務局と町田市明るい選挙推進委員の協力による出前講座が相原小学校にて行われました。6年生の社会科の授業にて、2学期後半から3学期前半にかけて学習する「わたしたちの生活と政治」という単元に合わせた実施でした。



町田市選挙管理委員会事務局が市公立小中学校でこの講座を実施するのは『初の試み』。5月中から、事務局・相原小・同校VC・6年担任・地元の明るい選挙推進委員らで企画検討がスタートし、6年生にも伝わるようにと配慮された「オリジナルテキスト」が作成されました。

当日の2～4校時までは各クラスで事務局職員による授業がテキストに沿って進められ、「選挙の意義」「憲法と選挙制度」「選挙の歴史」「投票」「投票制度について」「模擬選挙用『選挙公報』について」等説明されました。

難しい説明の間には選挙に関わる「クイズ」もあり、子どもたちも積極的に参加をしていました。

午後の5・6校時には体育館で全クラス合同による模擬選挙となりました。最初に事務局職員より「模擬投票の進め方」について説明があり、そのあと3名の候補者（明るい選挙推進委員）による「演説会」をうけて「模擬投票」、そして「開票作業」「開票結果発表」が行われました。

今回の模擬選挙で使用された「投票所入場券」「投票用紙」「投票箱」「記載台」等すべて「ホンモノ」同様に用意していただき、投票に参加した子どもたちは公平・公正に選挙事務が進められていることを更に実感したことと思います。

衆議院選挙に備えた準備が始まる中、総力体制で今回の講座を実施していただいた、町田市選挙管理委員会事務局と町田市明るい選挙推進委員の皆さまに御礼申し上げます。



候補者演説会



投票



開票

ドキュメンタリー映画 「あの街に桜が咲けば」 小川光一監督をお迎えして

本町田東小学校5年 3・4校時 11/18

岩手県陸前高田市には、津波の爪痕を後世に残すために、市内の津波最高到達点に桜を植える人たちがいる。『NPO法人桜ライン311』の人たちだ。同じ悲しみを繰り返してほしくないという願いをこめて桜を植える。ドキュメンタリー映画「あの街に桜が咲けば」の上映会が本町田東小学校で行われた。

桜ラインの活動の源は、目の前で何人も流された無念、おれがちやんとしていれば助かったのではないかという後悔、先人の残した石柱の意味を知らなかったことへの悔しさであるという。映画の中には、先人が建てた石柱や石碑のことが記録されていて、そこには「津波と聞いたら高所へ」などと刻まれている。震災時に、その教えを守っていたら助かった命も多かったはず。その悔しさもあって、桜の植樹に向かう。170キロメートルの津波最高到達地点に10メートル間隔で17000本の桜を植えていく。映画制作の段階で647本の植樹を終え、今後とも寄付を募って桜の木を植え続けていくそうだ。私たちの多くは、自分だけは災害に巻き込まれないと心のどこかで思いながら生きているが、それでいいのだろうか。同じ悲しみを繰り返さないために、後世に何かを残そうと奮闘する人たちのドキュメンタリー映画を各地で上映している。ドキュメンタリー映画視聴40分、監督のお話20分、質疑20分。小学校高学年以上であればほぼ理解できる内容だ。直近では、1月21日に町田市民企画講座で上映される予定。



「上映スケジュール」「学校で自主上映会を開催したい方」は公式サイトで ⇒ <http://anosaku.ifdef.jp>

社会科「農家の仕事」 大蔵小学校3年 11/6

3年生4学級が学区内にある中溝さんの畑を訪ねました。二人のVCの計らいで学校と農家がつながり、当日の授業が実現。いちどに4学級が入ると説明が聞き取りづらくなるだろうということで、2学級をひとつのグループとして、約一時間ずつ野菜栽培の話をしていただくことにしました。畑だけでも体育館の3倍分の広さと聞き、みんな驚きの表情。さらにびっくりしたのは、年間に49種類もの野菜を栽培していて、それらの作物は市場には出荷していないとのことでした。そのわけは、出荷するとなると、収穫・洗浄・袋詰めなどの手間がかかり、今のところその労力を賄うことが難しいのだそうです。子供たちは栽培している野菜の名前をメモ用紙に書き込んでいきました。ミズナ、ふつうのネギ、人参、カキナ（ノラボウ）、下仁田ネギ、アスパラガス、ナス、キャベツ、ピーマン、白菜、にんにく、ブロッコリー・・・日頃食べている野菜を実際に見て、新しい発見をした子供たちでした。

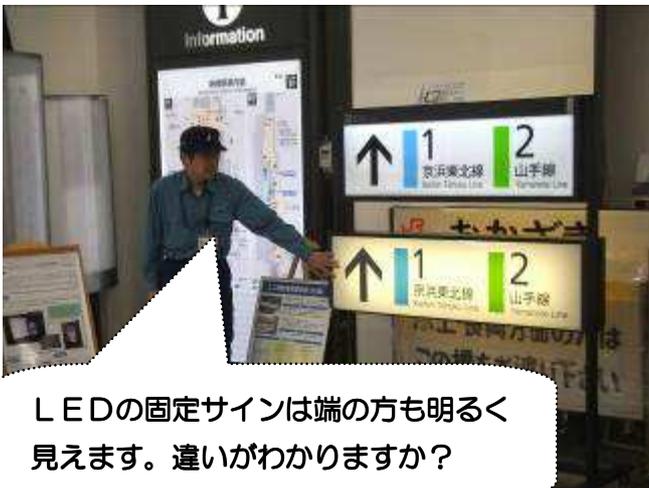


「学校近くの工場見学」 小山中央小学校5年 2～4校時 10/30

融雪システムの説明やポイントの切り替え体験



これはLEDを使った可変式のサインです。



LEDの固定サインは端の方も明るく見えます。違いがわかりますか？



「心肺蘇生教育から学ぶ命」 つくし野小学校6年 10/14

国士舘大学ウェルネスリサーチセンターによる指導



「聴覚障がい」についての授業 町田第一小学校 4年 11/20



体験に基づいたお話の強みで、いろいろと気付かされる授業になりました。また、劇仕立てにしてあるので、具体的でわかりやすく学ぶことができました。

例えば、ろう者の方が落し物をしたとき、健聴者からろう者の方にどのように声かけをしたらいいか、郵便局での窓口の人とのやりとりはどのようにしているのか、電車に乗っていて事故が起こった場合の情報をどのようにして伝えてあげるかなど場面を変えて学びました。

身振り（ジェスチャー）、筆談、振動、空書^{くうしょ}、口話^{こうわ}などの伝え方や日常生活用具として、筆談器、お知らせラン

プ、振動目覚まし、パトライトなどがあることも知りました。授業の後半には、あいさつの手話も指導してもらいました。今回ご指導してくださったのは、「手話サークル町田」の方々でしたが、導入をお考えの学校は「町田市社会福祉協議会」を通して「手話サークル町田」に連絡をとってみてください。

伝言板

◇学校支援ボランティア感謝状贈呈式での事例発表校

1月27日の感謝状贈呈式・事例発表には様々なボランティア活動とその背景にVCコーディネート活動があることを多数の方々にご覧いただきたいと思います。

今年度は小学校から高ヶ坂小学校、中学校から町田第二中学校の事例発表を予定しています。

高ヶ坂小学校では、国際交流や障がい者体験、環境教育などさまざまな活動を学校内にとり入れています。VCとして大切にしていること。また、町田第二中では、学力向上や地域協働の学校づくりに力をいれていますが、充実するためにどのような取組をしているかを報告していただく予定です。ご期待ください。

◇小学校地区別VCミーティング会場の確認

1地区	・・・	小山田	小学校	4地区	・・・	町田第一	小学校
2地区	・・・	忠生	小学校	5地区	・・・	成瀬台	小学校
3地区	・・・	鶴川第三	小学校	6地区	・・・	つくし野	小学校

9月に行った合同ミーティングの際、3学期の地区別VCミーティングの会場校候補としてお伝えしました。これまでも地区内で順番にお引き受けいただいていますので、ご協力のほどよろしくお願いたします。日程につきましては、2月中の開催を予定しておりますが、会場校と調整の上、12月中にお知らせします。